

発行：岩手県国民健康保険団体連合会

発行代表者：佐藤 新



CONTENTS

02 新国保制度施行に向け重要な1年
29年度も岩手県と市町村間の連携を支援
国保連合会第146回通常総会

06 岩手県関係課（健康国保課・医療政策室・
長寿社会課・障がい保健福祉課）の人事異動

07 国保連合会の人事異動

08 平成29年度岩手県国民健康保険団体連合会事務局組織

09 29年度業務推進計画を決定
引き続き医師確保を最優先に
岩手県国保診療施設運営連絡協議会「総会」

09 29年度事業計画など協議
現地研究会は宮古市で開催予定
岩手県地域医療研究会「役員会」

10 地域づくりアドバイザーを選出
岩手県在宅保健活動者連絡協議会「役員会」
医師養成修学生生の選考基準を了承
平成28年度（第2回）市町村医師養成協議会運営委員会

今月の表紙
「イチゴ狩り」
北上市

「イチゴ」の季節が到来した3月20日、北上市の「北上いちご園」を取材。園内では、べにほっぺ、あきひめ、かおりの、おいCベリーの4品種を栽培しており、小さな女の子も取れたてイチゴを食べ比べながら、味の違いを楽しんでいました。

新国保制度施行に向け重要な1年

29年度も岩手県と市町村間の連携を支援

国保連合会第146回通常総会

国保連合会は2月27日、国保会館で第146回通常総会を開催した。総会では、専決処分の承認を求める6件の報告事項が承認されたほか、29年度事業計画、各会計予算など24議案を審議し、原案どおり議決した。29年度事業計画では、保険者の厳しい財政状況に対応し引き続き経費削減に努め、より効率的・効果的な事業方針が示されたほか、国保制度改革では、今後も岩手県と市町村間の連携を適切に支援していくことが確認された。

保険者から期待される組織を目指す

開会にあたり、谷藤裕明理事長は国保制度改革について触れ「岩手県では新国保制度の納付金及び標準保険料率の試算が行われているほか、国保運営方針についてもより具体的な協議が進められている」と述べた。

また、本会については、「制度改革に的確な対応ができるよう組織の見直しを含め準備を進めているが、今後も県と市町村との協議の場に参加し、県と市町村間の連携が適切に行われるよう支援するほか、29年度は30年度から始まる新国保制度への円滑な移行を含む

め、今後とも保険者から信頼され、期待される組織として事業の推進に取り組んでいきたい」とあいさつした。

新国保制度のスタートに向け正念場の年

次に、来賓の佐々木信岩手県保健福祉部長（代読・藤原寿之健康国保課総括課長）は「30年度からの新国保制度に向け、昨年は国から国保運営方針の策定要領や納付金・標準保険料率のガイドラインなどが示され、市町村や国保連合会との協議の場である広域化等支援方針推進連携会議及びワーキンググループにおいて、運営方針のあり方や納付金・標準保険料率の算定ルール



国保連合会
谷藤裕明 理事長



岩手県健康国保課
藤原寿之 総括課長



議長を務めた
高橋昌造 矢巾町長

などの協議を進めている。来々4月からの新国保制度の円滑なスタートに向けた正念場の年であり、関係機関が一体となってさまざまな準備を進めていく必要があると考えており、引き続きの協力をお願いしたい」とあいさつした。

個人番号連携対応のセキュリティを強化

続いて、総会議長に高橋昌造矢巾町長を選任、議事録署名員に柳村典秀滝沢市長と鈴木重男葛巻町長を指名して議事に入った。

報告事項では、専決処分の承認を求める6件が報告され、▽平成28年度診

療報酬審査支払特別会計補正予算▽平成28年度後期高齢者医療事業関係業務特別会計補正予算―など、全6項目を原案どおり承認した。

今回の報告事項（補正予算）には、全国の国保連合会が基幹系システムと個人番号連携対応のセキュリティ対策を実施することに伴い、システム機器の設定作業経費も含まれている。

特定健診と特別徴収の手数料は引き下げ

議決事項では、平成29年度事業計画や一般会計予算など24件を上程し、全議案とも原案どおり議決された。（事業計画は4・5ページ掲載）

公 告

平成29年2月27日開催の本会通常総会
で議決された事項について公告する。

平成29年2月27日

岩手県国民健康保険団体連合会
理事長 谷 藤 裕 明

事業計画の主な内容では、▽国保制
度の充実強化と財政安定化対策の推進
▽保健事業及び地域医療対策の推進▽
診療報酬等審査支払業務の充実▽介護
保険事業関係業務の推進▽障害者総合
支援法関係業務等の推進▽保険者事務
共同事業の推進―など、保険者や関係
機関と連携した事業の展開が示された。
また、予算関係では特定健診等デー
タ管理システム手数料を5円引き下げ
245円としたほか、保険料等の特別
徴収に係る経由機関係手数料を88銭
引き下げ1人当たり6円97銭とした。

第146回岩手県国民健康保険団体連合会通常総会議案

- 議案第1号 岩手県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計財政調整基金積立資産の処分について
- 議案第2号 岩手県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計財政調整基金積立資産の処分について
- 議案第3号 岩手県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等特別会計財政調整基金積立資産の処分について
- 議案第4号 岩手県国民健康保険団体連合会特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計財政調整基金積立資産の処分について
- 議案第5号 平成28年度岩手県国民健康保険団体連合会一般会計補正予算(第3号)について
- 議案第6号 平成28年度岩手県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計補正予算(第5号)について
- 議案第7号 平成28年度岩手県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計補正予算(第4号)について
- 議案第8号 平成28年度岩手県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計補正予算(第3号)について
- 議案第9号 平成28年度岩手県国民健康保険団体連合会保険財政共同安定事業・高額医療費共同事業特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第10号 平成29年度岩手県国民健康保険団体連合会事業計画について
- 議案第11号 平成29年度岩手県国民健康保険団体連合会負担金等の賦課及び納期限について
- 議案第12号 平成29年度岩手県国民健康保険団体連合会一般会計予算について
- 議案第13号 平成29年度岩手県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計予算について
- 議案第14号 平成29年度岩手県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計予算について
- 議案第15号 平成29年度岩手県国民健康保険団体連合会保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業特別会計予算について
- 議案第16号 平成29年度岩手県国民健康保険団体連合会国保診療施設勤務医師等海外研修特別会計予算について
- 議案第17号 平成29年度岩手県国民健康保険団体連合会職員退職手当特別会計予算について
- 議案第18号 平成29年度岩手県国民健康保険団体連合会国保会館特別会計予算について
- 議案第19号 平成29年度岩手県国民健康保険団体連合会健康管理施設特別会計予算について
- 議案第20号 平成29年度岩手県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計予算について
- 議案第21号 平成29年度岩手県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等特別会計予算について
- 議案第22号 平成29年度岩手県国民健康保険団体連合会市町村医師養成事業特別会計予算について
- 議案第23号 平成29年度岩手県国民健康保険団体連合会特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計予算について
- 議案第24号 平成29年度岩手県国民健康保険団体連合会特別徴収情報経由業務特別会計予算について

平成29年度岩手県国民健康保険団体連合会事業計画

基本方針

国保制度は一昨年の法改正により財政基盤を強化するための大幅な公費投入と、平成30年度から新たに都道府県が財政運営の責任主体として事業運営の中心的な役割を担うという制度創設以来の大改革が行われることとなった。

平成29年度は、この新しい国保制度の円滑な施行に向けた最終年度であり正念場の年度であることから、本会と



28年度補正予算や29年度予算などを議決した第146回通常総会

しても岩手県や市町村と一体となつて、新制度に対応した国保保険者標準事務処理システムの導入に向け、環境構築を精力的に進めていく。また、国保制度改革と併せインセンティブ改革として保険者努力支援制度が創設され、保険者の評価指標の取り組みに対して特別調整交付金が交付される仕組みが導入されたことから、平成29年度事業計画の中で保険者の前倒し分の取り組みを支援していく。具体的には、

国保固有の指標で評価点の高い収納率向上の取り組みに対しては、収納率向上アドバイザーを活用しながら個別相談や助言など実施し、きめ細やかな対応を図っていく。

保健事業については、特定健診の受診率向上のため、新規業務として特定健診等データ管理システムのデータから3年連続健診未受診者の名簿を作成し市町村に情報提供するほか、医療費分析の取り組みとして国保ヘルスアップ事業やデータヘルス計画に基づく個別保健事業に対して、本会設置の保健事業支援・評価委員会による支援を行っていく。さらに、評価指標の中で最大評価の対象である糖尿病の重症化予防については、国保データベースシステム（KDBシステム）を活用して

ハイリスク者を抽出できるよう保険者の取り組みを支援していく。

診療報酬等審査支払業務については、国保総合システム及び審査事務共助支援システムの審査機能を活用し、高点数レセプトや入院レセプトの重点審査や効果的な縦覧・横覧・突合点検を実施するとともに、審査委員が専門的な医学判断に専念できるよう体制の整備に努め、審査事務共助の一層の強化に取り組んでいく。

介護保険事業関係業務及び障害者総合支援法関係業務については、審査支払業務や相談苦情処理業務の充実に努めるとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた保険者の取り組みを支援する。さらに、介護給付適正化事業については昨年度同様、全保険者を対象に実施する。

保険者事務共同事業については、国保共同電算処理業務として後発医薬品の使用促進の取り組みや医療費通知の作成に努め、多様化し増大する保険者の業務の充実と効率化に資するよう努める。特に、第三者行為求償事務については、取り組み強化の一環として受託範囲を一部拡大し、任意保険未加入で自賠責保険の限度額を超過した案件について、加害者直接請求を実施して

いく。

このように、平成29年度は国保制度の大きな変革期となっているが、本会としては保険者の厳しい財政状況に対応し、引き続き経費節減に努め、より効率的・効果的な事業の推進を図りながら、次の事項を重点に事業を実施する。

重点事項

- 1 国保制度の充実強化と財政安定化対策の推進
- 2 保健事業及び地域医療対策の推進
- 3 診療報酬等審査支払業務の充実
- 4 介護保険事業関係業務の推進
- 5 障害者総合支援法関係業務等の推進
- 6 保険者事務共同事業の推進
- 7 その他連合会事業の充実

実施事項

1 国保制度の充実強化と財政安定化対策の推進

- (1) 国保制度改善強化全国大会への参加及び実行運動の展開
- (2) 国保事業充実強化推進運動（新・国保3%推進運動）の推進
- (3) 新たな国保制度への対応
- (4) 国民健康保険フォーラムの開催
- (5) 国保地区協議会及び国保運営委員

協議会との連携

2 保健事業及び地域医療対策の推進

- (1) 第2次健康ステップアップ運動の推進
- (2) 保健事業の推進
- (3) 特定健診等データ管理業務の実施
- (4) 保健推進委員等代表者協議会事業の推進
- (5) 在宅保健活動者連絡協議会事業の推進
- (6) 保険者協議会活動の推進
- (7) 国保診療施設の医師確保対策の推進
- (8) 地域医療研究会事業の推進
- (9) 国保診療施設運営安定化対策の推進

3 診療報酬等審査支払業務の充実

- (1) 審査支払業務の充実
- (2) 審査事務共助の充実
- (3) 保険者支援事業の推進

4 介護保険事業関係業務の推進

- (1) 審査支払業務の充実
- (2) 介護サービス相談・苦情処理業務の充実
- (3) 保険者事務共同処理事業の実施

- (4) 介護給付適正化事業の実施
- (5) 諸統計の作成と関係情報の提供

5 障害者総合支援法関係業務等の推進

- (1) 支払業務の充実
- (2) 市町村事務共同処理事業の実施

6 保険者事務共同事業の推進

- (1) 共同電算処理事業の推進
- (2) 保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業の実施
- (3) 第三者行為求償事務の充実

7 その他連合会事業の充実

- (1) 後期高齢者医療関係業務の実施
- (2) 県・市町村単独医療費助成事業の実施
- (3) 保険料の特別徴収等に係る経由事務の実施
- (4) 出産育児一時金等の医療機関等への直接支払制度に関する事務の実施
- (5) 70歳代前半の被保険者等に係る一部負担金等の軽減特例措置に関する事務の実施
- (6) 広報調査事業の充実
- (7) 個人情報保護と情報セキュリティ対策の強化

平成29年度各会計歳入歳出予算総額一覧表

(単位：千円)

会 計	本年度	前年度	比較	比較増減割合(%)
1. 一般会計	302,336	606,154	△ 303,818	△ 50.12
2. 診療報酬審査支払特別会計				
(1) 業務勘定	942,804	1,523,606	△ 580,802	△ 38.12
(2) 国民健康保険診療報酬支払勘定	102,661,401	102,822,561	△ 161,160	△ 0.16
(3) 公費負担医療に関する診療報酬支払勘定	3,480,729	3,693,765	△ 213,036	△ 5.77
(4) 出産育児一時金等に関する支払勘定	1,008,005	3,427,205	△ 2,419,200	△ 70.59
(5) 県(市町村)単独医療費助成支払勘定	3,307,206	943,884	2,363,322	250.38
3. 後期高齢者医療事業関係業務特別会計				
(1) 業務勘定	557,538	546,019	11,519	2.11
(2) 後期高齢者医療診療報酬支払勘定	200,707,485	165,791,901	34,915,584	21.06
(3) 公費負担医療に関する診療報酬支払勘定	329,370	281,370	48,000	17.06
4. 保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業特別会計	37,458,093	37,661,579	△ 203,486	△ 0.54
5. 国保診療施設勤務医師等海外研修特別会計	23,528	23,528	0	0.00
6. 職員退職手当特別会計	68,402	77,305	△ 8,903	△ 11.52
7. 国保会館特別会計	35,107	35,455	△ 348	△ 0.98
8. 健康管理施設特別会計	347	372	△ 25	△ 6.72
9. 介護保険事業関係業務特別会計				
(1) 業務勘定	217,038	213,882	3,156	1.48
(2) 介護給付費支払勘定	143,530,892	137,249,118	6,281,774	4.58
(3) 公費負担医療等に関する報酬等支払勘定	1,034,776	1,015,405	19,371	1.91
10. 障害者総合支援法関係業務等特別会計				
(1) 業務勘定	59,662	47,269	12,393	26.22
(2) 障害介護給付費支払勘定	27,651,594	26,790,618	860,976	3.21
(3) 障害児給付費支払勘定	3,163,902	2,607,894	556,008	21.32
11. 市町村医師養成事業特別会計	399,903	357,380	42,523	11.90
12. 特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計				
(1) 業務勘定	61,892	57,059	4,833	8.47
(2) 特定健診・特定保健指導等費用支払勘定	993,571	939,476	54,095	5.76
(3) 後期高齢者健診等費用支払勘定	480,934	478,091	2,843	0.59
13. 特別徴収情報経由業務特別会計	4,223	5,975	△ 1,752	△ 29.32
合 計	528,480,738	487,196,871	41,283,867	8.47

岩手県関係課（健康国保課・医療政策室・長寿社会課・障がい保健福祉課）の人事異動

岩手県保健福祉部健康国保課・医療政策室・長寿社会課・障がい保健福祉課の平成29年4月1日付人事異動をお知らせします。（ ）は前所属及び役職。

◆健康国保課◆

転入

▼業務担当課長 大坊真紀子（環境生活部岩手県立県民生活センター次長）
▼主任主査 互野裕子（沿岸広域振興局保健福祉環境部宮古保健福祉環境センター上席栄養士）▼主任主査 海上博（商工労働観光部雇用対策・労働室主任主査）▼主任主査 田村剛（沿岸広域振興局保健福祉環境部大船渡保健福祉環境センター上席薬剤師）▼主査 豊間根美恵（保健福祉部障がい保健福祉課主任）▼主事 星井一希（政策地域情報政策課主事）▼主事 仲村美里（県南広域振興局保健福祉環境部花巻保健福祉環境センター主事）▼技師 小田哲也（県南広域振興局保健福祉環境部薬剤師）

転出

▼秘書広報室広報課報道監 新沼司（業務担当課長）▼沿岸広域振興局保健福祉環境部企画管理課長 山内健幸（主任主査）▼保健福祉部医療政策室主任主査 岩館幸司（主任主査）▼県北広域振興局経営企画部二戸地域振興センター主査 藤澤透（主査）▼沿岸広域振興局保健福祉環境部大船渡保

健福祉環境センター上席保健師 佐藤雅子（主査）▼大槌町民生部長 才川拓美（主査）▼沿岸広域振興局保健福祉環境部主事 田村篤（主事）▼沿岸広域振興局保健福祉環境部薬剤師 菊池裕美（技師）▼退職 畠山祐子（主任主査）

◆医療政策室◆

転入

▼医務課長 福士昭（保健福祉部医師支援推進室医師支援推進担当課長）▼特命課長《医療再生》 佐々木良生（総務部法務学事課主任主査）▼特命課長《がん対策》 菊池雄一（企業局県南施設管理所主任主査）▼主任主査 中野綾（盛岡広域振興局農政部主査）▼主任主査 岩館幸司（保健福祉部健康国保課主任主査）▼主査 佐藤泰宗（商工労働観光部雇用対策・労働室主査）▼主事 高橋里美（医療局医事企画課主事）▼主事 佐々木主水（沿岸広域振興局保健福祉環境部主事）▼主事 阿部保（沿岸広域振興局保健福祉環境部宮古保健福祉環境センター主事）▼技師 千田江美（盛岡広域振興局保健福祉環境部保健師）

転出

▼岩手県教育委員会事務局教育企画室企画課長《併任政策地域部政策推進室ふるさと振興監》 鈴木優（医務課長）▼岩手県教育委員会事務局教職員課人事給与担当課長 鈴木忠（特命課長《医療再生》）▼沿岸広域振興局保健福祉環境部大船渡保健福祉環境センター管理福祉課長 山口秋人（特命課長《がん対策》）▼商工労働観光部経営支援課主査 菊池真也（主査）▼県南広域振興局保健福祉環境部一関保健福祉環境センター主査獣医師 高橋秀彰（主査）▼沿岸広域振興局保健福祉環境部大船渡保健福祉環境センター主任保健師 菊池圭（主任）▼医療局経営管理課主事 小野寺志保（主事）▼政策地域部調査統計課主事 佐々木貴規（主事）▼県北広域振興局保健福祉環境部二戸保健福祉環境センター主事 豊岡奈津子（主事）

◆長寿社会課◆

転入

▼高齢福祉担当課長 大釜範之（保健福祉部長寿社会課特命課長《地域包括ケア推進》）▼介護福祉担当課長 西野文香（国体・障がい者スポーツ大会局総務課県民運動担当課長）▼特命課長《地域包括ケア推進》 森昌弘（総務部管財課主任主査）▼主査 伊藤郁子（県南広域振興局保健福祉環境部主査）▼主任 佐藤祐輔（総務部人事課主任・陸前高田市派遣）▼主事 石塚佑紀（盛岡広域振興局保健福祉環境部

社会福祉主事

転出

▼保健福祉部岩手県後期高齢者医療広域連合部付兼次長兼総務課長 米澤勉（高齢福祉担当課長）▼秘書広報室秘書課管理課長兼政策地域部政策推進室ふるさと振興監 橋場友司（介護福祉担当課長）▼保健福祉部長寿社会課高齢福祉担当課長 大釜範之（特命課長《地域包括ケア推進》）▼総務部総務室公立大学法人岩手県立大学事務局室付兼主任主査 高橋由紀子（主査）▼保健福祉部子ども子育て支援課主査 佐藤綾子（主査）▼商工労働観光部観光課主査《仙台市駐在》 鈴木智恵（主査）▼保健福祉部保健福祉企画室主査 佐藤さおり（主査）▼保健福祉部岩手県福祉総合相談センター上席児童福祉司 内藤和宏（主査）▼総務部人事課主任・陸前高田市派遣 千葉敏史（主任）

◆障がい保健福祉課◆

転入

▼参事兼総括課長 高橋進（復興局産業再生課総括課長）▼主幹兼こころの支援・療育担当課長 佐々木和哉（保健福祉部地域福祉課生活福祉担当課長）▼障がい福祉担当課長 前田敬之（保健福祉部障がい保健福祉課特命課長《自殺総合対策》）▼特命課長《自殺総合対策》 佐々木浩一（保健福祉部地域福祉課主任主査）▼主査 坂井正芳（総務部法務学事課主査）▼主査 山崎伸二（岩手県警察本部交通部交通規制課係長）▼主任 堀合俊彦（保健

福祉部障がい保健福祉課主事) ▼主任
石川豊(保健福祉部障がい保健福祉課
主事) ▼主事 佐藤祐基(総務部人事
課主事) ▼主事 神田匠(岩手県議
事務局総務課主事) ▼技師 新屋友香
里(県北広域振興局保健福祉環境部保
健師)

転出

▼保健福祉部岩手県福祉総合相談セン
ター所長 伊藤信一(参事兼総括課長)
▼保健福祉部保健福祉企画室企画課長
兼政策地域部政策推進室ふるさと振興
監 中野文男(こころの支援・療育担
当課長) ▼保健福祉部子ども子育て支
援課子ども家庭担当課長 駒木豊広
(障がい福祉担当課長) ▼保健福祉部
障がい保健福祉課障がい福祉担当課長
前田敬之(特命課長《自殺総合対策》)
▼文化スポーツ部文化振興課主任主査
金垂希子(主任主査) ▼商工労働観光
部雇用対策・労働室主査 大森雅也(主
査) ▼保健福祉部健康国保課主査 豊
間根美恵(主任) ▼保健福祉部岩手県
宮古児童相談所主査児童福祉司 小笠
原靖(主任) ▼保健福祉部障がい保健
福祉課主任 堀合俊彦(主事) ▼保健
福祉部障がい保健福祉課主任 石川
豊(主事) ▼保健福祉部岩手県福祉総
合相談センター主任心理判定員 亀田
優子(主事) ▼岩手県教育委員会事務
局教職員課主事・陸前高田市教育委員
会派遣 日山真吾(主事) ▼県南広域
振興局保健福祉環境部主事 阿部聡人
(主事)

国保連合会の人事異動

国保連合会の平成29年4月1日付人事異動をお知らせします。()は
前所属及び役職。

平成29年度は組織体制を見直し、これまでの事務局次長制を改め、総務
事業部と審査部の2部制を導入します。

また、平成29年度は国保制度の円滑な施行に向けた最終年度であること
から、新制度に対応した国保保険者標準事務処理システムの導入に向け環
境構築を精力的に進めるほか、保険者努力支援制度に係る保険者の評価指
標の取り組みを支援していきます。

昇任

▼審査部長兼審査管理課長兼出納役
鈴木敬之(保健介護課長)

異動

▼事務局長 佐藤新(前・岩手県職
員) ▼総務事業部長兼総務課長 金子
仁(事務局次長兼総務課長兼審査管理
課長) ▼保健介護課長 村田保夫(審
査課長) ▼審査課長 海沼茂(参与・

事務局長事務取扱) ▼保健介護課課長
補佐《介護保険担当》 渡辺美喜子(保
健介護課課長補佐《保健施設担当》
▼保健介護課課長補佐《保健施設担当》
小畑智(審査管理課課長補佐《管理担
当》) ▼審査管理課課長補佐《管理担
当》 金澤克浩(保健介護課課長補佐《介護
保険担当》) ▼審査課第4係長 猪股
久恵(審査課歯科・調剤係長) ▼審査
課歯科・調剤係長 鈴木圭子(審査課
第4係長) ▼審査課第2係主査 中村
悦子(保健介護課介護保険係主査) ▼
審査管理課システム管理係主任 梅木
美奈子(審査管理課システム運用係主
任) ▼審査課第1係主任 松浦由梨(審
査課第2係主任) ▼審査管理課再審査
係主任 久保田亜希子(審査課第1係
主任) ▼審査管理課主事 國分希和子
(審査課主事) ▼審査課主事 及川亮
頼(保健介護課主事)

職名替え

▼保健介護課主事《保健師》 関川望
美(保健介護課保健師)

派遣

▼岩手県保健福祉部健康国保課 吉田
拓真《審査管理課付主任》 ▼国保中央
会番号対策本部 山下修平《審査管理
課付主任》 ▼国保中央会介護保険部介
護保険課 南館佳史《保健介護課付主
事》 ▼国保中央会審査部審査企画課
藤原大洋《審査管理課付主事》

新採用

▼保健介護課保健係主任《保健師》 鳥
居奈津子 ▼保健介護課介護保険係主任
《保健師》 米澤ルリ子

再雇用

▼主任審査専門員 村上喜代治

退職

(平成29年3月31日付)
▼清水歩(審査課主事) ▼木村幸美(審
査課主事)

平成29年度事務局組織(2部4課)
(平成29年4月1日現在)

正規職員73人(内派遣4人)	
総務事業部	総務課 庶務係 経理係 管財係 事業係 介護保険係 施設係 保健係 管理係
	保健介護課 施設係 保健係 管理係
審査部	審査管理課 再審査係 システム管理係 システム運用係 第1係(高点・支援) 第2係(地区割) 第3係(地区割) 第4係(ロジカル)
	審査課 第1係(高点・支援) 第2係(地区割) 第3係(地区割) 第4係(ロジカル) 歯科・調剤係 福祉・療養費係
参与・医師対策監・審査事務監	

平成28年度事務局組織(4課17係)
(平成28年4月1日現在)

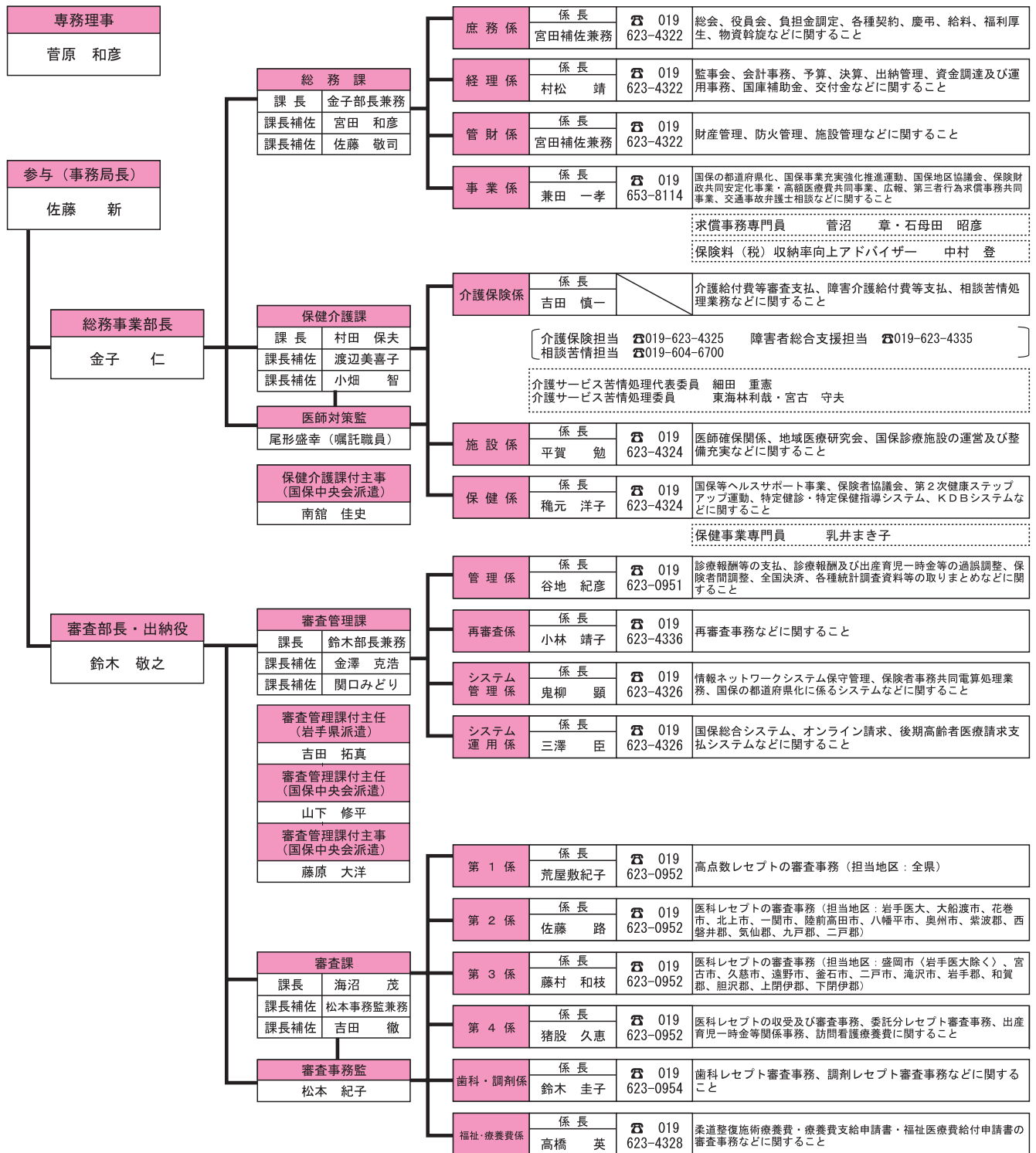
正規職員75人(内派遣2人)	
総務課	庶務係 経理係 管財係 事業係 介護保険係 施設係 保健係 管理係
	保健介護課 施設係 保健係 管理係
審査管理課	再審査係 システム管理係 システム運用係 第1係(高点・支援) 第2係(地区割) 第3係(地区割) 第4係(ロジカル)
	審査課 第1係(高点・支援) 第2係(地区割) 第3係(地区割) 第4係(ロジカル) 歯科・調剤係 福祉・療養費係
参与・医師対策監・審査事務監	



平成29年度岩手県国民健康保険団体連合会 事務局組織

平成29年度の国保連合会事務局体制をお知らせいたします。ご連絡は以下の担当係までお願いします。

(平成29年4月1日現在)



29年度業務推進計画を決定 引き続き医師確保を最優先に

岩手県国保診療施設運営連絡協議会「総会」

岩手県国保診療施設運営連絡協議会（幹事長・鈴木重男葛巻町長）は2月27日、国保会館で総会を開催した。県内国保有施設市町村が出席した総会では、昨年12月に「国保診療施設の医師確保に関する要望書」を岩手県へ提出したことなどを含む28年度業務推進状況が報告されたほか、同協議会設置要綱の一部改正や4項目を柱とする29年度業務推進計画を決定した。

冒頭、同協議会幹事長の鈴木重男葛巻町長は「本協議会では、医師確保対策や市町村医師養成事業の推進を最優先課題として取り組んでおり、今後も関係機関との連携を図りながら医師確保等に努めていく」とあいさつした。

続けて、鈴木幹事長を座長に選出し協議が行われ、28年度業務推進状況では、本会の尾形盛幸医師対策監が「昨年12月に『国民健康保険診療施設の医師確保に関する要望書』を岩手県へ提出し、自治医科大卒業医師の配置増員と、代診医の確保を含めた医師確保を強く要請した」と報告したほか、市町村医師養成事業については、「28年度はこれまでの取り組みに加え、県外医科大学在学学生や、養成医師で県外での臨床研修者や義務履行猶予者への面談を強化し、義務履行率向上に努めている」と説明した。

次に、同協議会設置要綱の一部改正では、幹事長及び副幹事長の職務及び

幹事が欠員となった場合の規定を盛り込むことを承認したほか、29年度業務推進計画では、①医師確保対策②医師定着対策③国保診療施設間における支援・協力体制の推進④事業推進のための調査研究―の4項目を柱とする計画を決定した。



医師確保対策など4項目を柱とする29年度事業計画を決定した

29年度事業計画など協議 現地研究会は宮古市で開催予定

岩手県地域医療研究会「役員会」

岩手県地域医療研究会（会長・佐藤元美一関市国保藤沢病院事業管理者）は2月17日、国保会館で役員会を開催した。会議では、28年度事業状況や国保直診医師共済会計の決算見込が報告されたほか、29年度事業計画を協議し、研究会・研修会の開催など五点を柱とする事業計画が承認された。

役員会は佐藤元美会長を座長に選出し協議が行われ、28年度事業報告では、昨年9月に本県で8年ぶりの開催となった東北地方国保診療施設協議会連絡会議や昨年11月に関係者約160人が参加した秋季集会、各研修会の実施状況が報告されたほか、国保直診医師共済会計の決算見込などが示された。

続けて、29年度事業計画では、①研究会・研修会の開催②保健事業の推進③組織の強化④「らんどあるつと」の発行（「岩手の保健」に掲載）⑤秋季集会抄録の作成―の五点を柱とした計

画案を協議した。

この中、研究会・研修会の開催では、総会及び春季集会を6月24日、秋季集会を11月18日に国保会館で開催予定としたほか、第11回現地研究会・役員会を8月19日に宮古市で開催予定とし、昨年新築した国保田老診療所で視察研修を行うことなどを確認した。

なお、「地域包括ケア病棟」をテーマに開催する春季集会では、厚労省の担当者を講師に招いた講演のほか、地域包括ケア病棟を取得している病院や取得を検討している病院などを交えたパネルディスカッションを行う予定。

このほか、国保診療施設勤務医師等海外視察研修事業や「らんどあるつと」発行計画など、活発な協議が行われた。



研究会・研修会の開催など五点を柱とする事業計画を協議した

地域づくりアドバイザーを選出

岩手県在宅保健活動者連絡協議会「役員会」

岩手県在宅保健活動者連絡協議会は2月21日、国保会館で役員会を開催した。

阿部恵美子会長のあいさつの後、阿部会長を座長に選出し協議が行われ、28年度事業実施状況では、昨年5月に開催された総会及び研修会の実施内容や各種会議などの参加状況のほか、各地区の活動状況が報告された。

続けて、29年度事業について協議し、中でも岩手県が実施する地域づくりによる介護予防推進支援事業では、希望する市町村の住民運営による介護予防に向けた通いの場の構築と、いきいき百歳体操等の導入に関する技術的支援に向け、地域づくりアドバイザーを選出し岩手県に協力することを決定した。



各種会議の参加状況や各地区の活動状況が報告された

また、本年5月には総会及び研修会を国保会館で開催予定とし、研修会では高齢者の虚弱段階を指す「フレイル」の予防に関する講演のほか、地区ブロック別グループワークを取り入れることを承認した。

医師養成修学生の選考基準を了承

平成28年度(第2回)市町村医師養成協議会運営委員会

市町村医師養成事業の運営方法などを協議する市町村医師養成協議会運営委員会は2月15日、国保会館で28年度第2回目の会議を開催した。

本会の海沼茂事務局長を座長に選出し行われた協議では、市町村養成医師の臨床研修の状況が報告されたほか、市町村養成医師の配置調整案や市町村医師養成事業に係る繰越剰余金の取り扱い、29年度市町村医師養成事業貸し付けに係る選考基準などを協議した。



養成医師の配置調整案や修学生の選考基準など協議した

4月の行事予定

- | | | |
|------|----------------------|-------------|
| 4月8日 | 市町村医師養成修学生面接選考 | (国保会館) |
| 12日 | 交通事故弁護士相談 | (国保会館) |
| 13日 | 岩手県保健推進委員等代表者協議会 | 「役員会」(国保会館) |
| 14日 | 岩手県国保運営委員協議会 | 「役員会」(国保会館) |
| 15日 | 審査委員会(～20日) | (国保会館) |
| 17日 | 柔軟審査会 | (国保会館) |
| | 再審査部会 | (国保会館) |
| 19日 | 岩手県国保連保健事業推進会議 | (国保会館) |
| 24日 | 介護給付費等審査委員会 | (国保会館) |
| 28日 | 特定健診等データ管理システム担当者説明会 | (国保会館) |

し付けに係る選考基準などを協議した。

この中、市町村養成医師の配置調整案について、事務局は「初期臨床研修や後期研修を学んだ後、専門医資格取得等のため大学院に進学する養成医師が多い。市町村立病院で勤務する医師が増えるのは、あと2～3年を要すると思われる」と説明した。

また、29年度市町村医師養成事業貸し付けに係る選考基準では、面接判定の方法や書類審査の判定基準などが示され、全会一致で承認された。

保険者へのレセプト公開日は4月6日です

編集後記

4月になり、新年度を新たな気持ちで迎えている人も多いと思います。本紙も心機一転、新たな試みへの挑戦、紙面の充実と進化、タイムリーな情報提供を心掛けて作成していきますので、引き続き「情報国保連」をよろしく願います。▼さて、春と言えば桜。気象庁は3月21日、東京都心で桜が開花したと発表しました。平年より5日早く、昨年と同じ、全国でもっとも早い開花宣言となりました▼また雪の影響などで昨年より6日遅い作業となりましたが、盛岡市内丸の盛岡地裁でも3月21日に国指定天然記念物「石割桜」の雪囲いが外され、春の装いを新たにしました▼さらに、気象情報会社ウエザーニューズは3月21日、桜開花予想を発表。盛岡市の開花は4月15日、北上市の北上展勝地は同17日で例年並みと予想しています▼続々と桜の便りが届き始めましたが、今年も満開の桜を楽しみたいと思います。(熊倉)

発行日：平成29年4月1日

発行：岩手県国民健康保険団体連合会

〒020-0025 盛岡市大沢川原三丁目7番30号

電話番号：019-623-4322

URL：http://www.iwate-kokuhp.or.jp/

印刷：株式会社五六堂印刷

〔情報国保連〕年間購読料1,800円

購読料は、会員の負担金に含まれています。